

新年度 開講 新たな気持ちでスタート

3月19日は公立一般入試の合格発表でした。北摂三田高校は1クラス定員減の煽りをもろに受けてボーダーラインが急上昇。受験当日400点近い点数を取りながら第2志願になった生徒もいます。その結果、有馬高校・三田西陵高校に第2志願校で合格した生徒が過去最高レベルになっていることも推測できます。詳細については保護者会等でお伝えして行きます。

さて、新中3生にとっては「これまでで最も重要な1学期」となります。

①「行きたい高校を決めること」 ②「必要な通知表評価を知ること」
③「今やるべきことを自覚すること」 これら3つのことを認識できれば志望校合格に向けて突っ走ることができます。1学期に必要な通知表数値に達した生徒は8割以上公立受験で成功します。達成できなかった生徒に残された期間が2学期と考えて下さい。365日後には進学先が決まっています。

3、4月のおもなスケジュール

3/27	月	3月度授業終了
28~		春期講習(新小4~新高3)
4/2	日	【休室】
4	火	春期公開テスト(新小4~新中2)
5	水	春期公開テスト(新中3)
6	木	【自習室開放】12:00~18:00
7	金	1学期授業開始
8	日	中3面談期間 三田 spring フェスタ
15	土	やる気UP講座(中3)
22	土	中3保護者会 やる気UP講座(中1・中2)
29	土	昭和の日【授業あり】

春は新しい出会いの季節

はじめまして。3月から特進館学院の講師として仲間入りしました後藤綾祐美です。教科は算数・数学・理科の担当をしております。突然ですが春は出会いと別れの季節です。その中で私が改めて感じたことは「縁の大切さ」です。人生の選択肢はたくさんあり、その道を選択していなかったら出会うこともなかった人がいて、一緒に笑ったり、泣いたり、ささいなことでも共に経験できなかったのかな。そういったことを思わせる季節。そして私が特進館学院に仲間入りすることができたのも、そういった縁が結びついたものだと思っています。この縁を大事にしながら励んでいきたいです。よろしくをお願いします。〔後藤綾祐美〕

KENJA GLOBAL

北村 昌弘

代表 北村が、特進館学院に懸ける思いを、熱く熱く語っています。こちらのQRコードで、お手持ちのスマホからご覧いただけますのでぜひご視聴ください。PCからは『賢者TV』で検索してください。

お車で送り迎えの保護者の方は、安全対策のため必ず駐車枠内での乗降にご協力願います。教室玄関前の停車はご遠慮ください。

本部事務局より

4月分学費の振替日は、3/27(月)となっております。3/28日(火)より春期講習が実施されます。お子様を通じてお知らせをお渡ししておりますが、再度同封しておりますのでご確認ください。講習費につきましては当学院指定口座までお振込みいただけますようお願いいたします。

計算バトル 木・金

小学生のための、タブレットを使った計算トレーニング。ぜひご体験ください!

新高1生のみなさんへ!

新高1生のみなさん、長らくの受験勉強ほんとうにおつかれさまでした。すでに進路が決まっている人。3月19日の合格発表で晴れて行き先が決まる人。思いはそれぞれですが、輝かしい高校生活は目前です。しっかり気持ちをリフレッシュし、真っ白なキャンパスに新たな夢を描いてください。

高校生活は、スタートダッシュが肝心。その成功のカギは春休み中の予習にあります。これから始まる、高校3年間を大きく左右する重要なポイントとなるのが、高校最初の定期テストです。ここで校内上位の成績を残し、幸先の良いスタートを切ることができれば、大きな手ごたえと自信を得て波に乗ることができます。そのために、この春休み期間を使って取り組みたいのが、高校内容の予習。例えば、中間テスト範囲の英語の全文訳を作ってしまう、入学後に余裕を持って授業に臨め、常に優位に立って学習を進めることができます。

逆に春休み中、予習に手をつけずに高校生活に突入すると、行事が多く落ち着かない雰囲気の中、予習復習や大量の宿題、忙しい部活動に追われて学習ベースをつかめないまま、ズルズルと落ち込んでいく危険もあります。

高校受験と違って、大学受験は『高1の学習で決まる!』とも言われています。ですから春休みは、充実した3年間と志望校現役合格のための重要な第1歩。まずは定期テストを目標に計画を立て、予習を進めていくことができるよう心掛けましょう。もちろん、特進館学院がこれからもしっかりとサポートします!〔北村昌弘〕

編集後記

朝晩は寒さが残るものの、日中の陽射しは春を感じるものになってきました。春めいてくるのをうれしく思う反面、飛散量を増してくる花粉に悩まされているひとも多いのではないのでしょうか?毎日のヨーグルトが効くとか、焼きみかんが効くとか毎年いろんな方法がTVで取り上げられて話題になっていますが、何が効くのかはひとによって異なるようですね。ありがたいことに私自身はまだ花粉の恐怖に晒されていないのですが、いつかその症状に泣かされる日が来るのかと、毎年ドキドキしながらこの時期を迎えています。